

呉市制120周年記念特別展

新延輝雄と南薫造

美しき色彩のハーモニー



2022.5.21(土) - 9.4(日)

開館時間：9:00-16:30 休館日：火曜日

観覧料：一般200(160)円,高校生120(100)円,小・中学生80(60)円

* ()内は20名以上の団体料金。呉市に在住または通学する高校生以下は無料。

* 呉市いきいきパスをお持ちの方、障害者手帳等をお持ちの方は無料(要証明書)

* 広島中央地域連携中枢都市圏(竹原市・東広島市・江田島市・熊野町・海田町・坂町・大崎上島町)に在住,または通学する高校生以下は無料。

◎会期中、一部展示替えを行います

南薫造記念館
KUNZO MINAMI MEMORIAL MUSEUM



風景画を愛した、
師弟の交流

上：南薫造《風早風景》(部分)1946-47年頃
下：新延輝雄《二ノ久旧港》(部分)1964年

新延輝雄と南薫造

美しき色彩のハーモニー

呉市安浦町出身の南薫造(1883-1950)は、日本近代洋画の巨匠として知られています。官展や光風会展、日本水彩展などで活躍し、帝国美術院会員や帝室技芸員に任命されたほか、母校・東京美術学校の教授として多くの画家を育てました。その教え子たちの中で、南と親しい師弟関係を結んだ一人が新延輝雄(1922-2012)です。新延は幼い頃から油絵に親しみ、優秀な成績で東京美術学校を卒業。原爆で両親を亡くすという苦境を乗り越え、広島を拠点に日展や日洋会で活躍し、南とともに戦後の広島の文化復興に寄与しました。

南が日本の印象派と呼ばれた鮮やかな色彩で、瀬戸内を中心とした風景画を精力的に描いた一方、新延は南仏の古い町並みをハーフトーンの柔らかな色調で表現しました。本展では、国内外の風景画を中心に、師弟の心の交流と美しい色彩のハーモニーをお楽しみ下さい。



新延輝雄《オーベルの秋》1964年



新延輝雄《白い町角(ミコノス)》1990年



南薫造《夕日》1949年



南薫造《農村風景II》1947年頃

小企画①

南薫造と旅 —ガイドブックから名所案内まで— (開催中) —6月20日(月)

南が旅先で収集した観光パンフレットや地図、名所案内等を展示します。

南家の教科書 —明治前期編— 6月22日(水) —12月19日(月)

明治検定制度以前の初年教科書、検定教科書等を展示します。

小企画②

南家の絵はがきコレクションⅢ —絵はがきで見る全国名所巡り—

5月25日(水) —10月24日(月)

全国の観光地で発行された名所・旧跡などの絵はがきを紹介します。

小企画③

南薫造の芸術観 —セガントーニを中心に— (開催中) —7月25日(月)

南薫造がセガントーニについて書いた自筆原稿を紹介します。

画家の自筆原稿を読む③ —東京附近地名とアイヌ語— 7月27日(水) —2023年2月20日(月)

東京の地名に、アイヌ語の意味と解釈を加えて考察した自筆原稿を紹介。



南薫造

Kunzō Minami

広島県賀茂郡内海村(現・呉市安浦町)に生まれた南薫造は、東京美術学校(現・東京藝術大学)に学び、卒業後はイギリスに留学、フランスなどヨーロッパ各地で写生を重ねました。帰国後は文展、帝展などで作品を発表し、印象派風の光の表現を取り込んだ優雅で温かな画風が高く評価されました。帝国美術院会員や帝室技芸員として活躍し、母校・東京美術学校では教授として後進の指導に当たりながら、多くの芸術家との交流を通じて日本洋画の発展に貢献しました。

関連イベント

① ガーデン・コンサート ～マリンバの調べ～

日 時：6月12日(日) 13:30～

演奏者：安浦マリンバ教室レッスン生と石原有希子さん

参加費：無料(入館料が別途必要) 定員：20名(整理券)

② ミナミ・ド・陶器マルシェ

安浦町の「土の器工房」と川尻町の「岩屋工房」の素敵な器が大集合！お気に入りを見つけてください。入場無料。

日 時：7月23日(土)・24日(日) 9:00～15:00

※商品がなくなり次第終了します

③ アートワークショップ「ステキなカタチのお皿を作ろう」

シート状の粘土を使って自分だけの素敵なお皿を作りましょう。

日 時：7月23日(土) 13:30～15:30

対象：小学生以上(小学生は要保護者同伴)

参加費：2,200円(入館料が別途必要)

定員：15名(先着)

最新情報配信中！

南薫造記念館

KUNZO MINAMI MEMORIAL MUSEUM

〒737-2519 呉市安浦町内海南2丁目13-10 ☎(0823)84-6421



公式Twitter

@minami_kunzo



④ 記念講演会「新延輝雄の芸術」

日 時：8月6日(土) 13:30～14:30

講 師：寺本泰輔(比治山大学名誉教授、元呉市立美術館長)

参加費：無料(入館料が別途必要)

定 員：20名(先着)

①は当日13時より整理券を配布し、多数の場合は抽選とします。

③は7/15(金)、④は7/29(金)までに、呉市文化振興課へ電話(0823-25-3462)またはメール(bunsin@city.kure.lg.jp)でお申し込み下さい。

新型コロナウイルスの感染状況により、開催情報等に変更が生じる場合があります。最新情報は呉市文化振興課までお問い合わせ下さい。

ご利用案内

■ 車利用の場合

呉市内から国道185号線を

竹原方面へ。

クリアライン呉ICより約60分。

無料駐車場10台有。

■ JR利用の場合

JR呉線安浦駅下車、徒歩約900m

